

STITCHSKETCH VER 2.0

リリースノート

ベクター描画ツールの使い方

8/27/2013 生田圭司

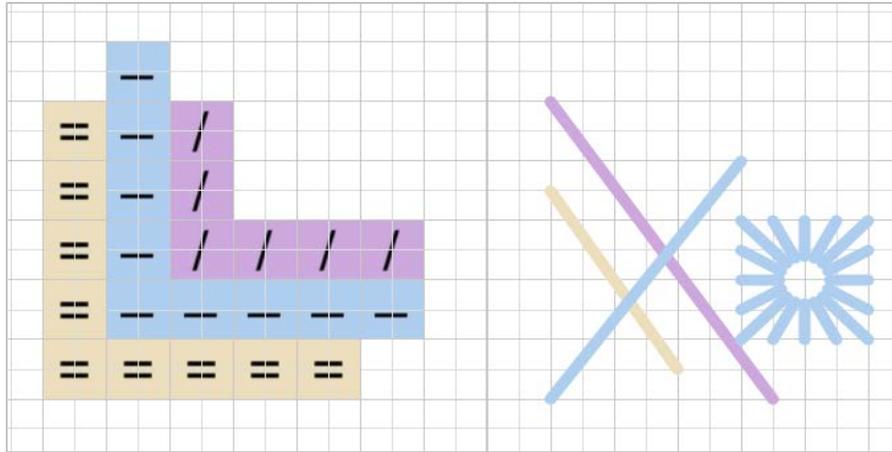
StitchSketch は、2.00 版において、バックステッチや分数ステッチなどを可能にする「ベクター描画」をサポートします。ベクターの描画の方法は、これまでのピクセルの描画と少々異なるので、本リリースノートにおいて解説したいと思います。

目次

ベクター描画.....	2
選択ツール.....	9
消しゴムツール.....	12
選択色一覧バー.....	13
セルの大きさ指定.....	13
グリッド背景モード.....	14
方眼編み対応.....	15
ファイル管理(ギャラリー)のサムネイル.....	16
ファイルメニュー.....	16

ベクター描画

StitchSketch において、バックステッチや分数ステッチ等は「ベクター描画」または「ベクター図形」と呼ばれます。これに対し、これまでの描画は「ピクセル描画」と呼ばれます。

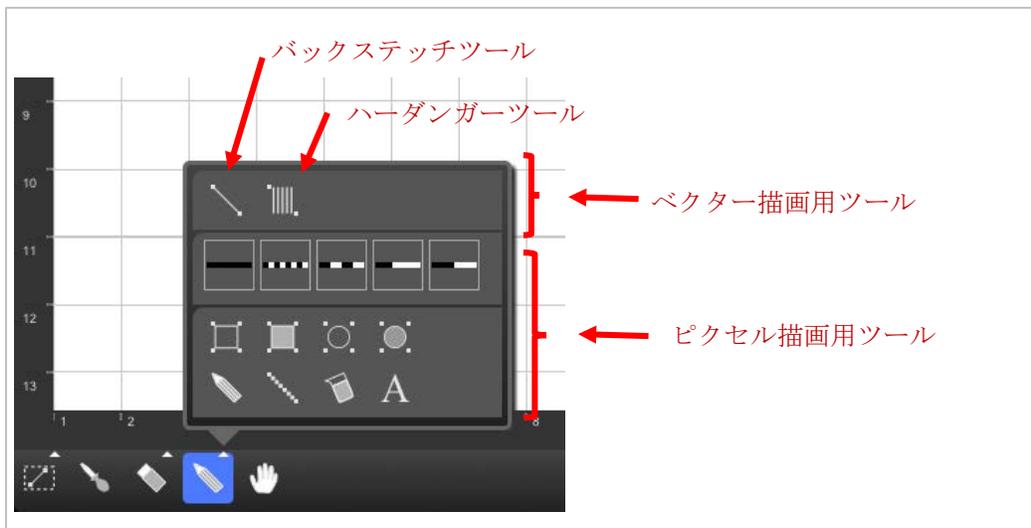


ピクセル描画

ベクター描画

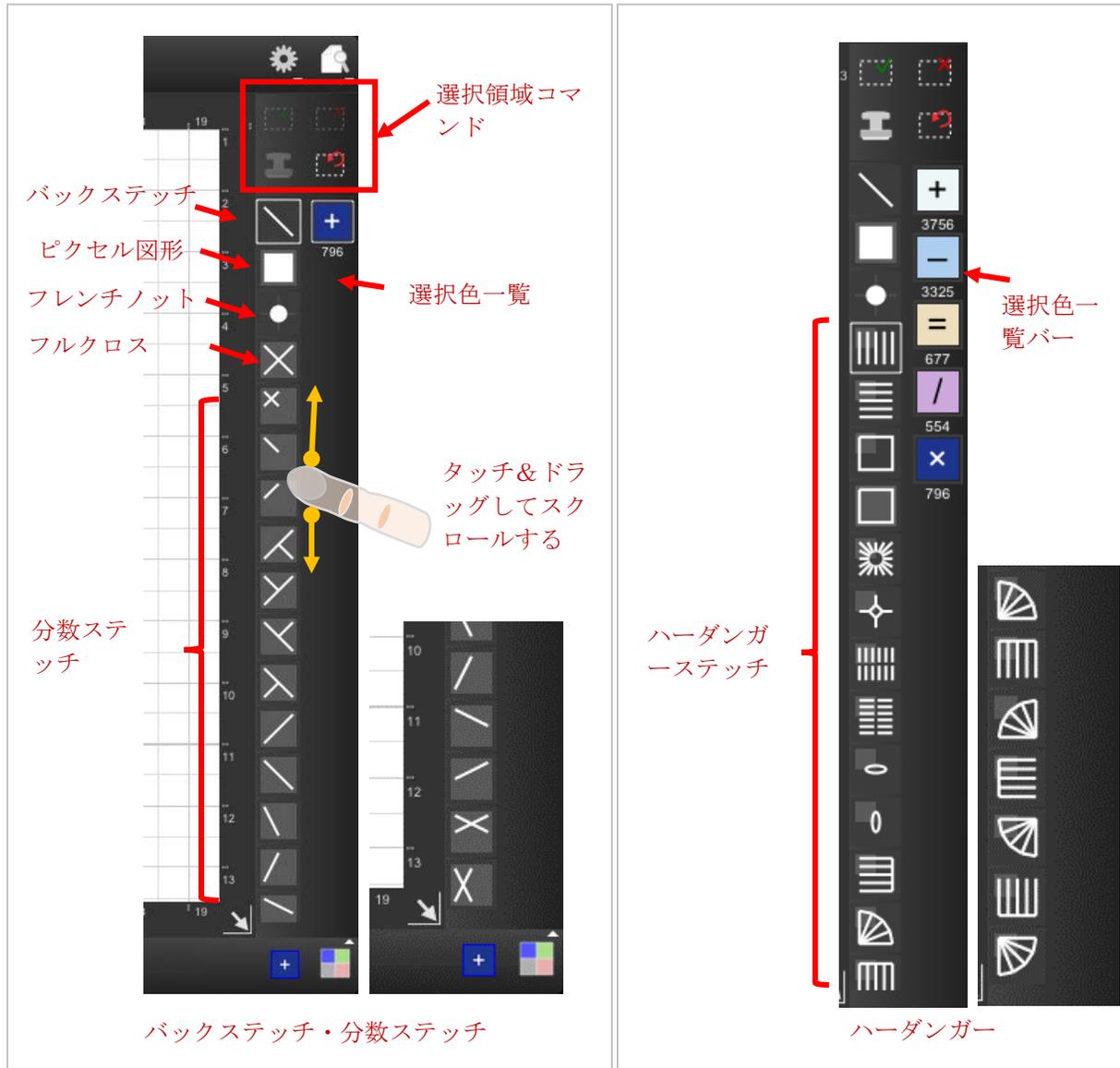
描画ツール

描画ツールポップアップメニューに、新たに2つのアイコンが追加されました。"バックステッチ"ツールと、"ハーダンガー"ツールです。



ベクター図形バー

ベクター描画用のいずれかのツールを選択すると、画面右側にベクター図形の選択バーが表示されます。(バーはドラッグすると上下にスクロールできます。)



図形によって描画方法が異なります。次の「セルの大きさの表示」の項目を参照してください。

セルの大きさの表示

各ツールの明るい灰色の四角は、セルの大きさを示しています。



灰色の四角がない場合は、スタンプモードのない自由描画を意味します。



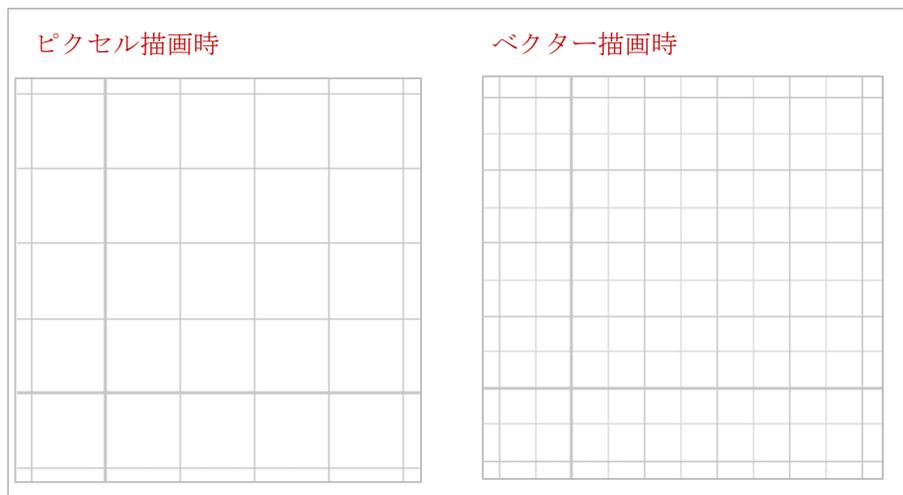
この場合の灰色の四角は、スタンプモードで、かつ、セル一つ分の大きさを意味します。



小さい灰色の四角は、スタンプモードでセル **2x2** の大きさを意味します。

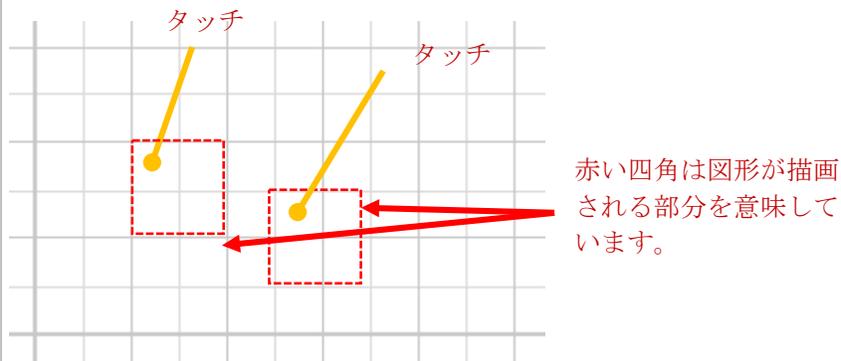
グリッドの細かさの違い

ベクター描画ツールを選択すると、グリッドの細かさが **2 倍** になります。つまり、通常のセル (ピクセル描画時のセル) の大きさの半分の座標に描画できることを意味します。



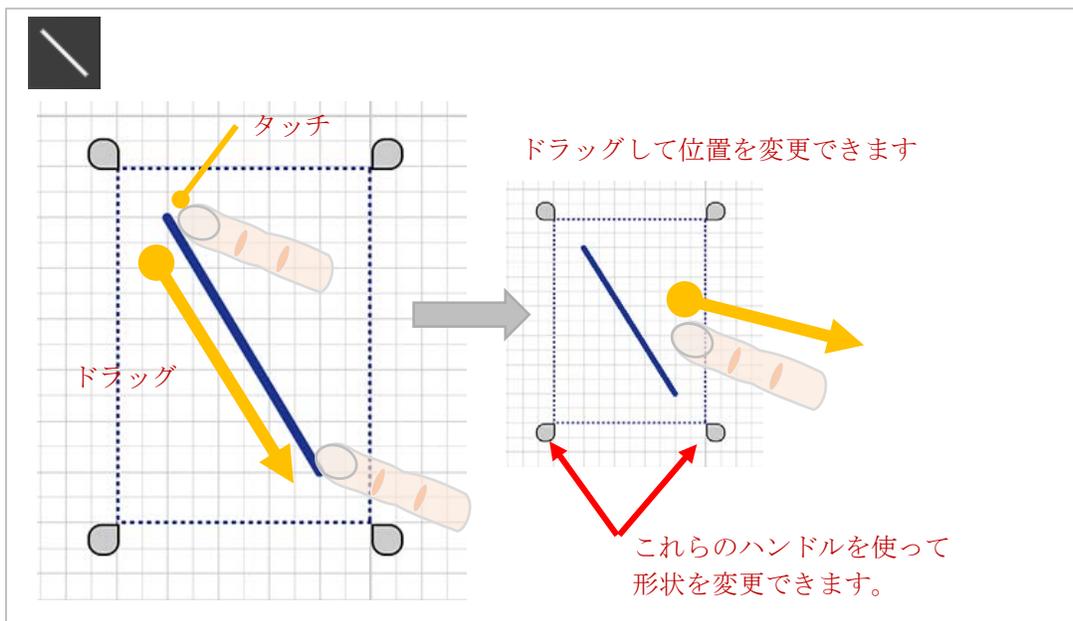
ベクター描画時には、描画できる座標が通常のピクセルの半分になるので、タッチする場所に気を付ける必要があります。(次の図を参照)

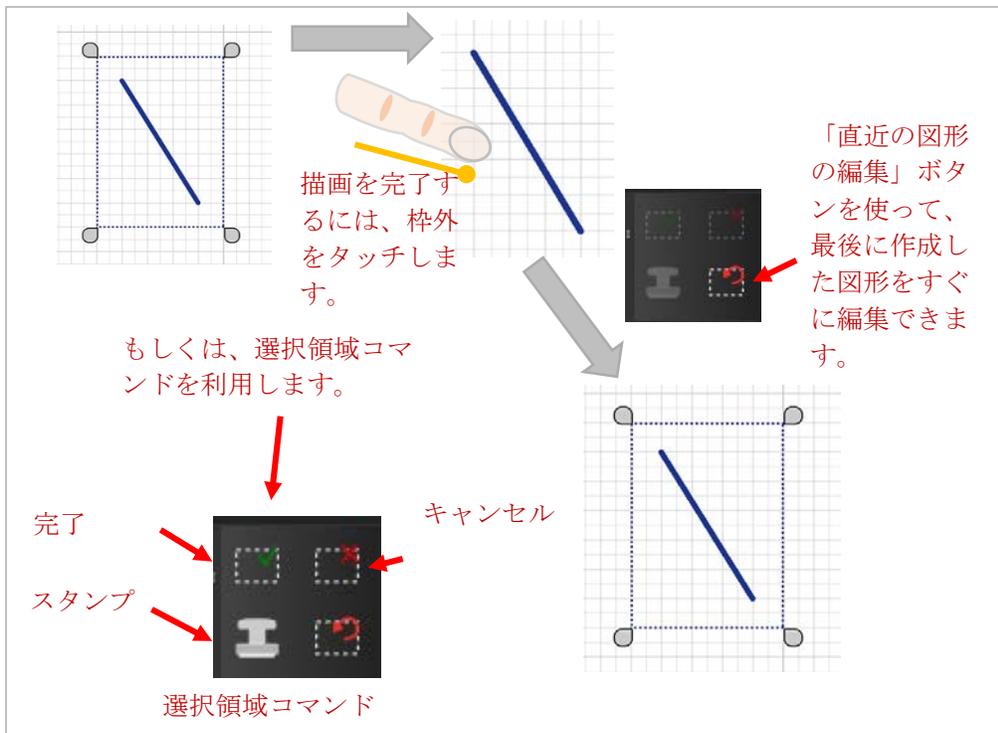
グリッドはセル半分なので、タッチする場所によっては、図形が置かれる場所が異なる。



バックステッチ描画方法

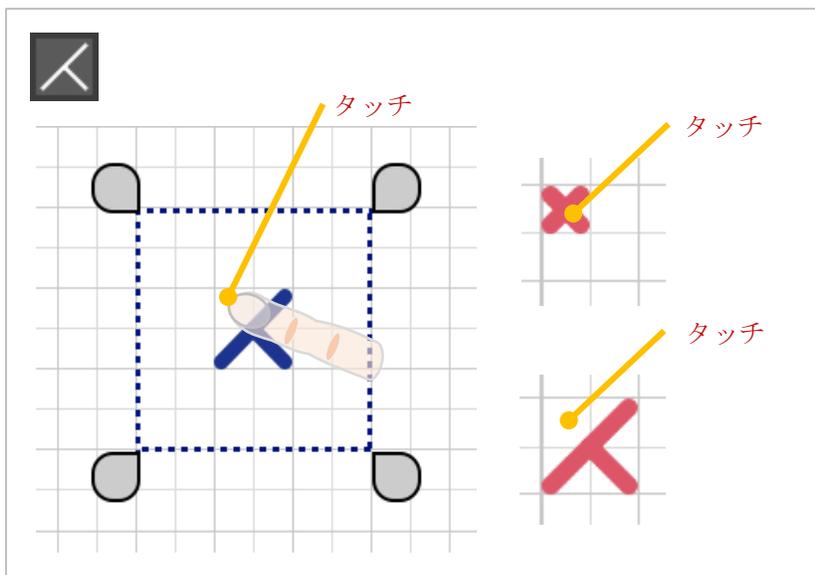
バックステッチを描画するには、タッチして、そのままドラッグします。描画後に表示される「ハンドル」(点線の枠と、その四方に表示される丸四角)を使って位置や形状を変更できます。また、「選択領域コマンド」を使うと、描画の終了、キャンセル、スタンプができます。



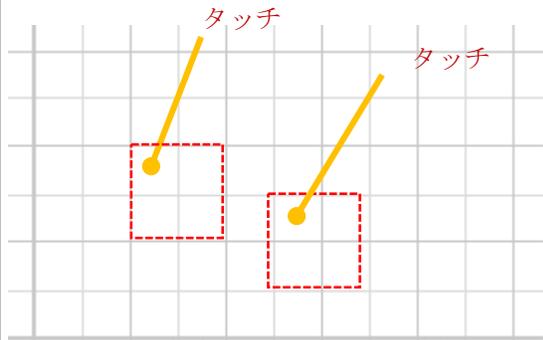


分数ステッチ描画方法

分数ステッチを描画するには、単にタッチするだけです。なお、ステッチの種類によっては、タッチするポイントが重要になります。

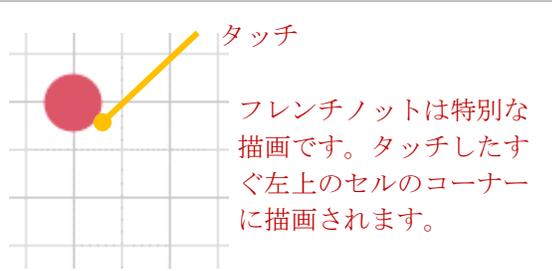


ベクター描画では、グリッドは通常
の半分になります



セルの左上をタッチしてください。

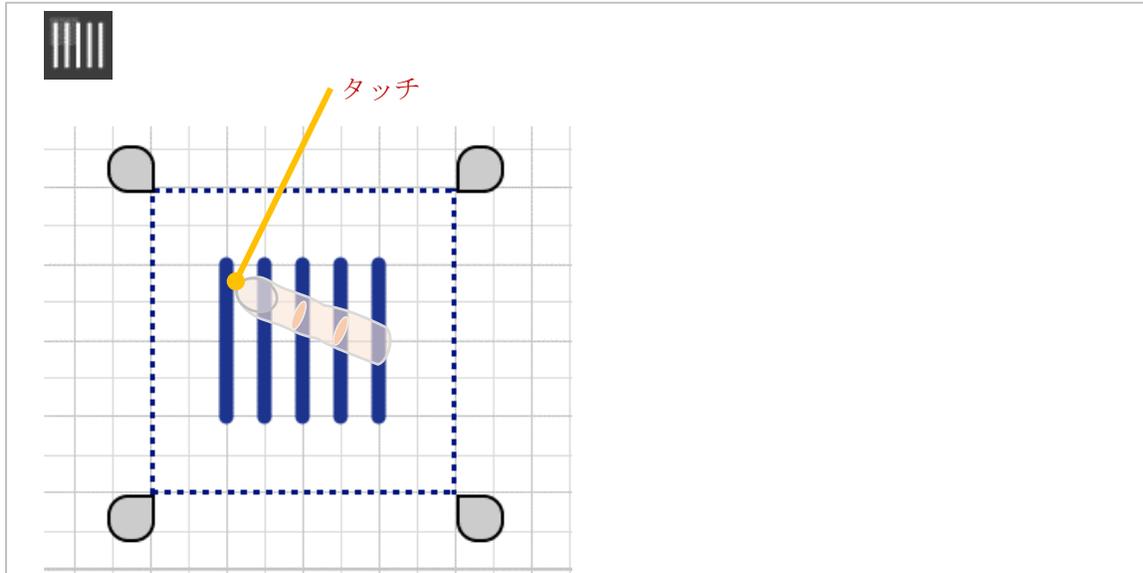
セルの右下をタッチすると、セル幅半分
ずれた位置に描画されます



フレンチノットは特別な
描画です。タッチしたす
ぐ左上のセルのコーナ
ーに描画されます。

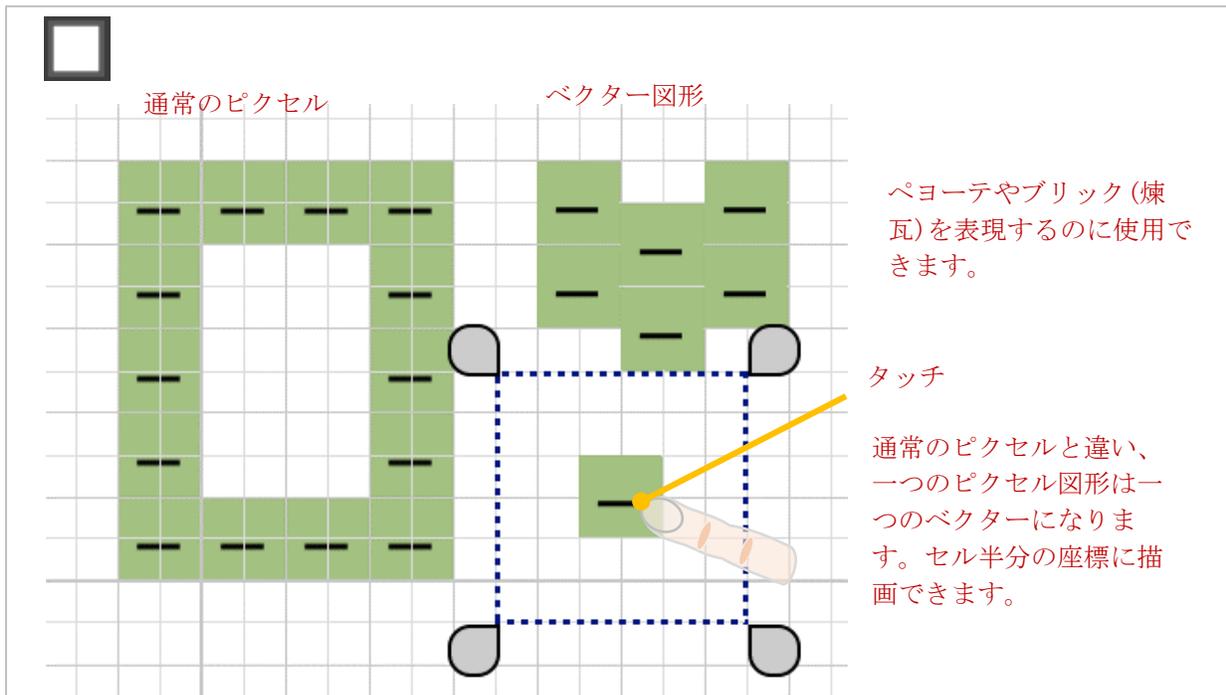
ハーダンガー描画方法

ハーダンガーの描画方法は、分数ステッチと同じくタッチするだけです。ハーダンガーステッチは、通常のセルの 2x2 の大きさがあります。



ピクセル図形

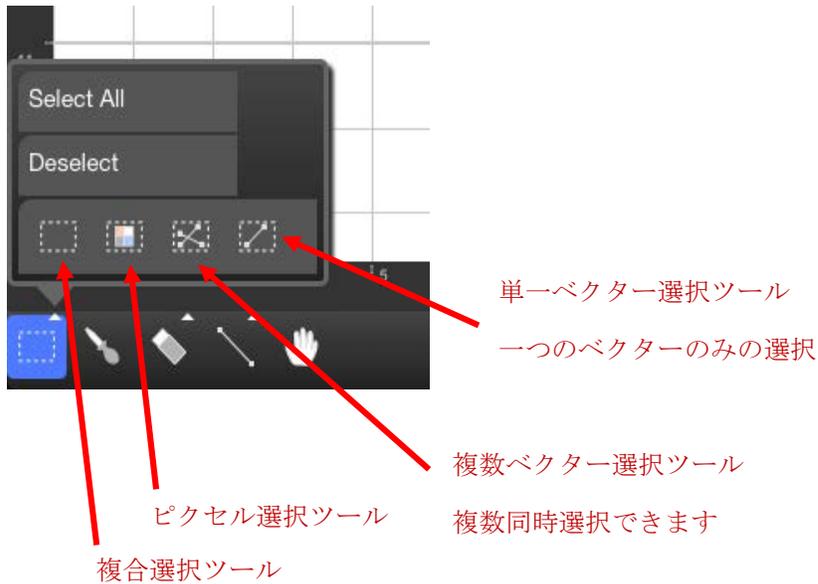
これまでと同じ「ピクセル」をベクター図形として描画することができます。ピクセルと同じように色と記号が描画されます。なお、あくまでベクター図形として扱われるので、編集等の処理はベクター図形と同じようにする必要があります。



選択ツール

選択ツール

選択ツールはベクター図形を扱えるように拡張されました。



選択ツールのボタンは、4種類あります。



ピクセル選択ツールは、ピクセル画像のみ選択します。



複合選択ツールは、ピクセルとベクター両方同時に選択します。



複数ベクター選択ツールは、ベクターのみ選択し、かつ、新しい図形を選択するたびに選択状態が追加されます。既に選択している図形を選択するとその図形の選択は解除されます。

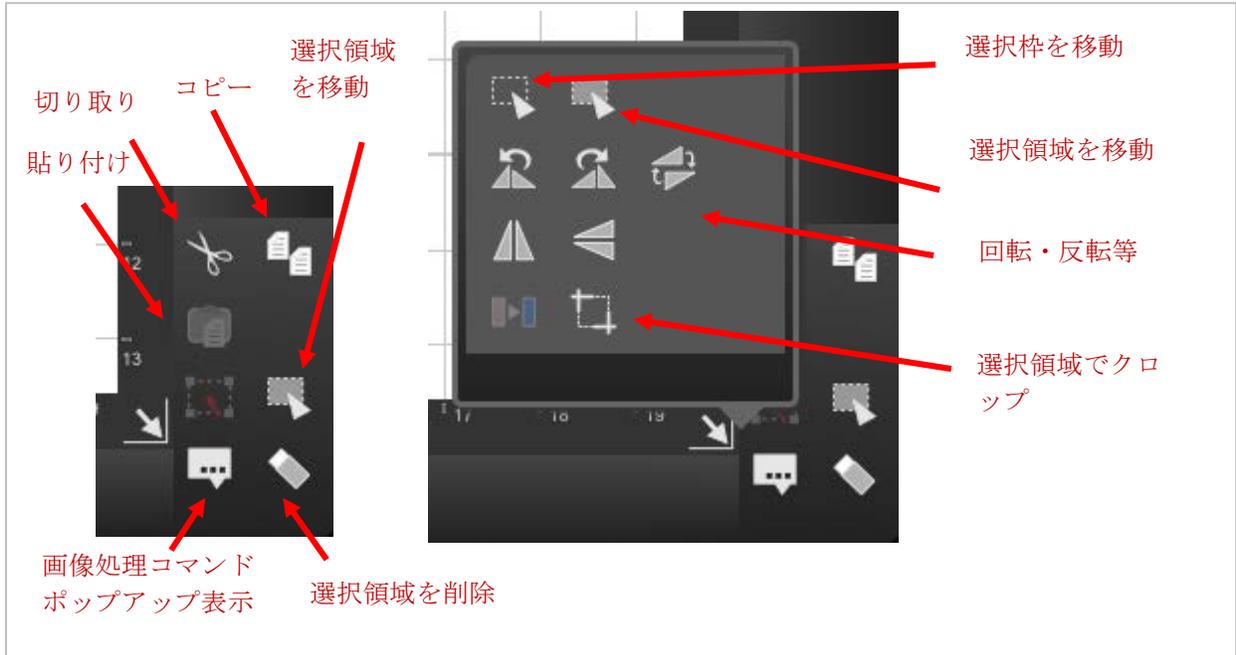


単一ベクター選択ツールは、ベクターのみを選択し、かつ、常に一つのベクター図形だけが選択できます。

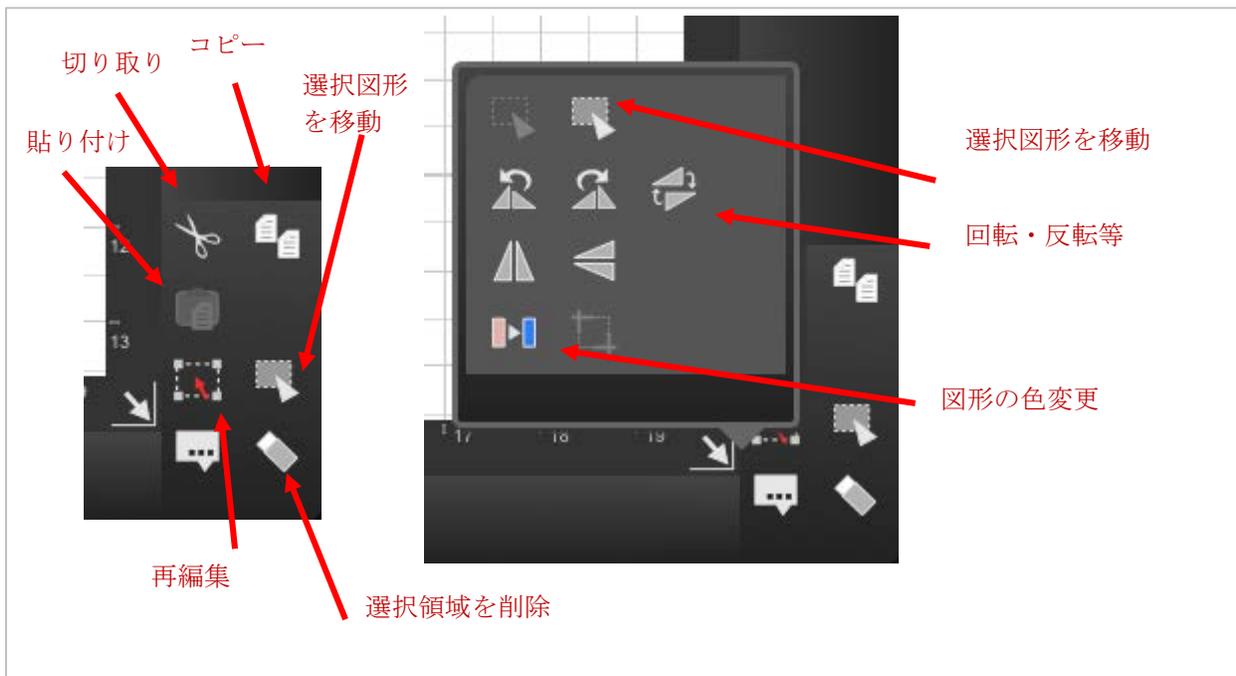
画像処理ツール

ピクセル・ベクター共に選択後、画像処理を実行できます。

ピクセル、両用モード時



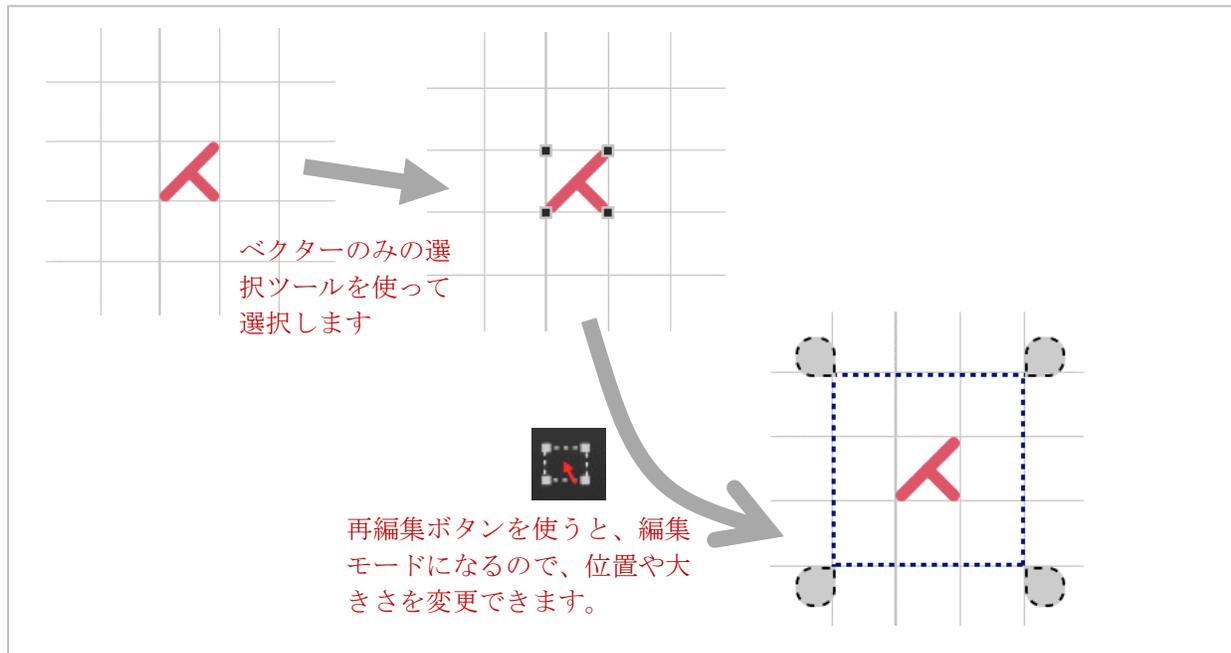
Vector Only Mode



「クロップ」はピクセルモード・両用モード時のみ使用可能です。

ベクター図形再編集ボタン

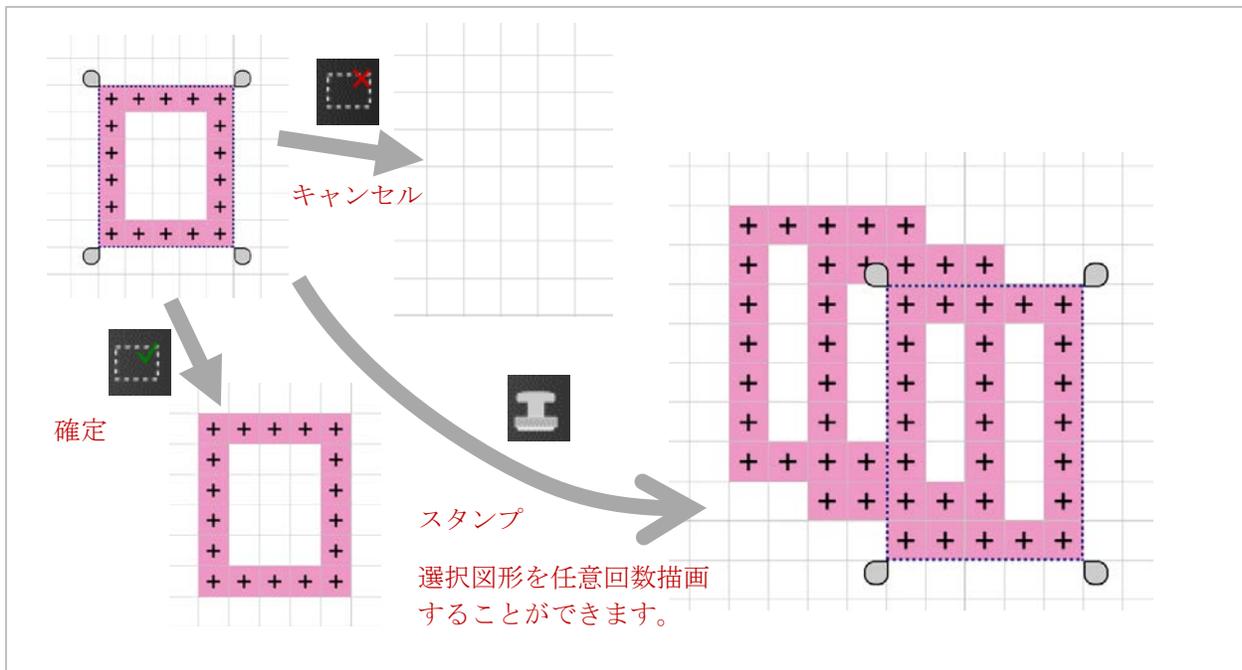
このボタンを使うと、選択したベクター図形の再編集ができます。



選択領域コマンド

選択領域コマンド(画面右上、選択色一覧バーの上)を使うと、選択領域の確定やキャンセルが簡単にできます。これらのコマンドは、選択状態枠を使用する全ての描画ツールで使用できます。(選択ツール、ピクセルの線・四角・楕円等のツール、ベクター描画ツール等)





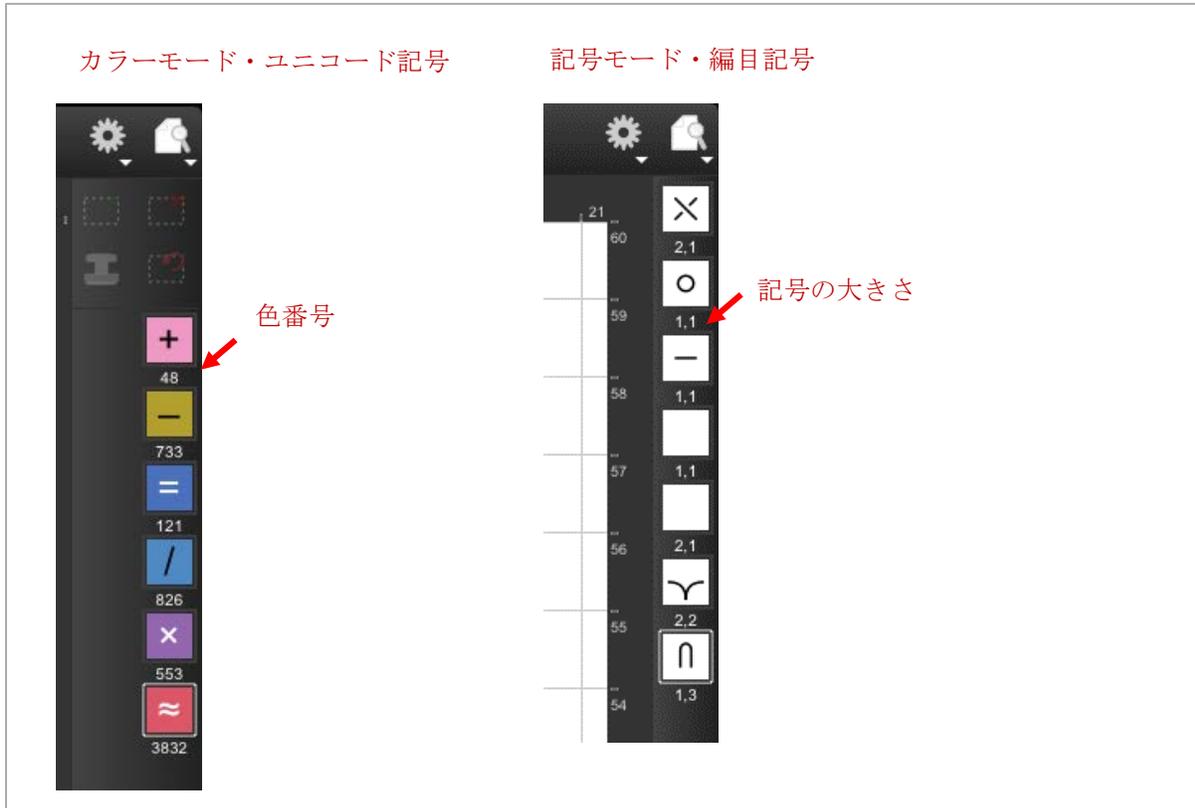
消しゴムツール

消しゴムツールは、セル一つ分を消去します。ベクトル図形は、その左上のコーナーがセル内に含まれていれば削除されます。

バックステッチを削除するには、ベクター図形選択ツールを利用してください。

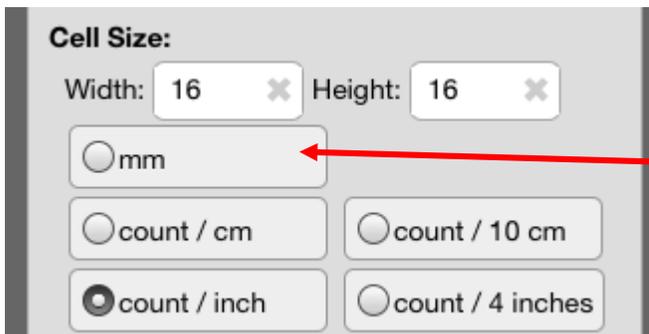
選択色一覧バー

選択色一覧バーは、今回のバージョンから、色番号、もしくは、大きさを表示するようになりました。



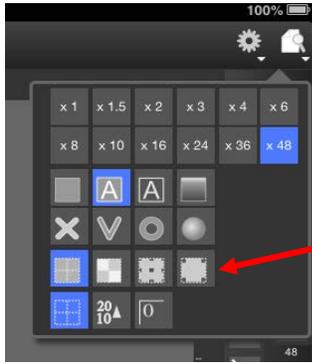
セルの大きさ指定

新規作成画面、または、図案情報画面で、セルの大きさの指定時に、その単位として (mm) を指定できるようになりました。アイロンビーズ等の図案を作成する場合に使います。(パールビーズ等は5mmです。)



グリッド背景モード

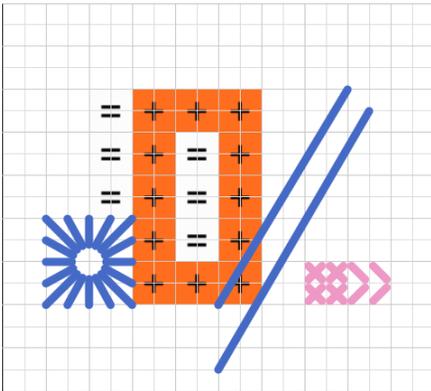
グリッドの背景の種類が選べるようになりました。



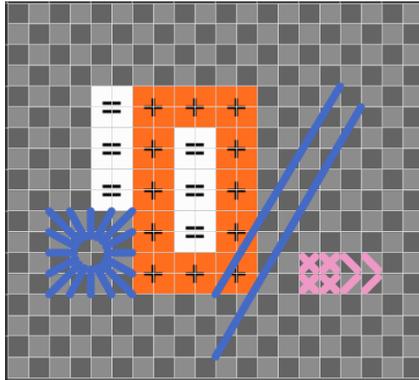
グリッド背景オプション



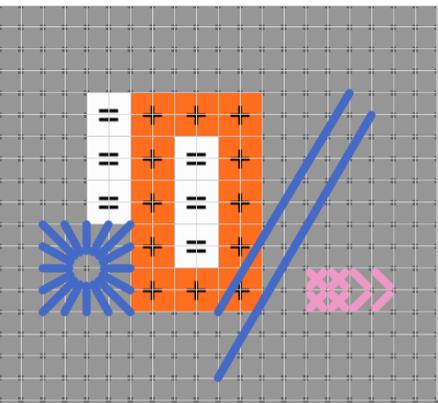
標準塗りつぶし



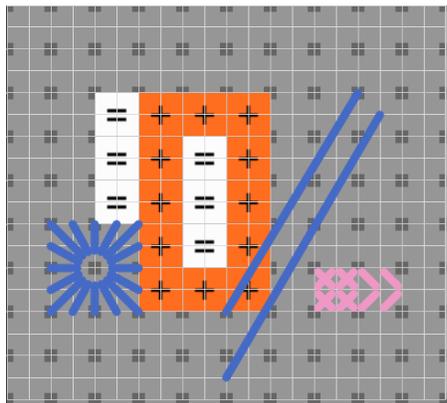
透明



リネン

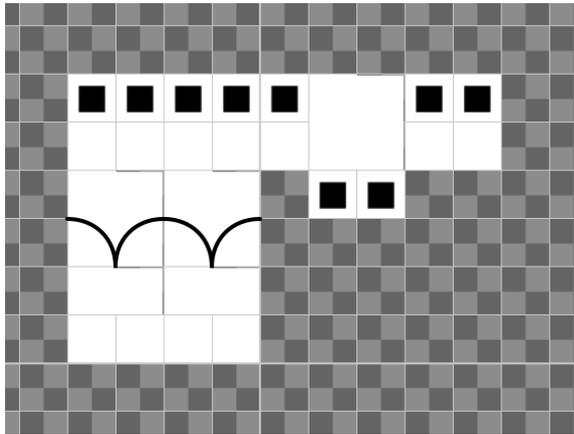


アイーダ



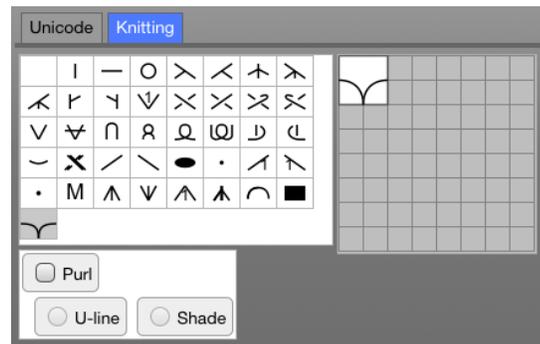
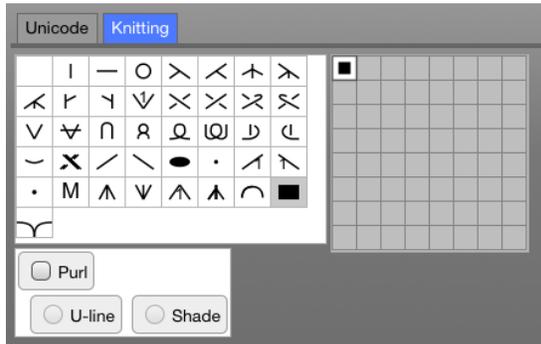
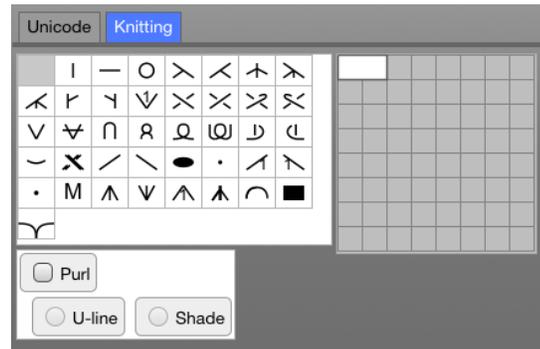
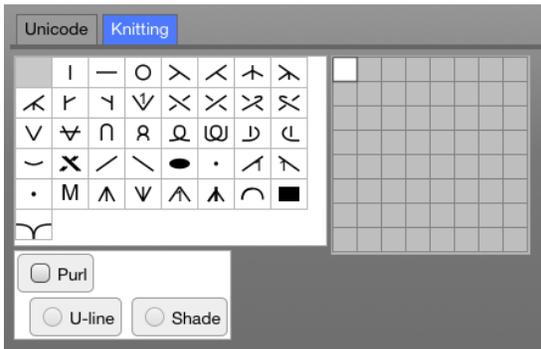
方眼編み対応

方眼編みの図案作成のための機能が追加されました。



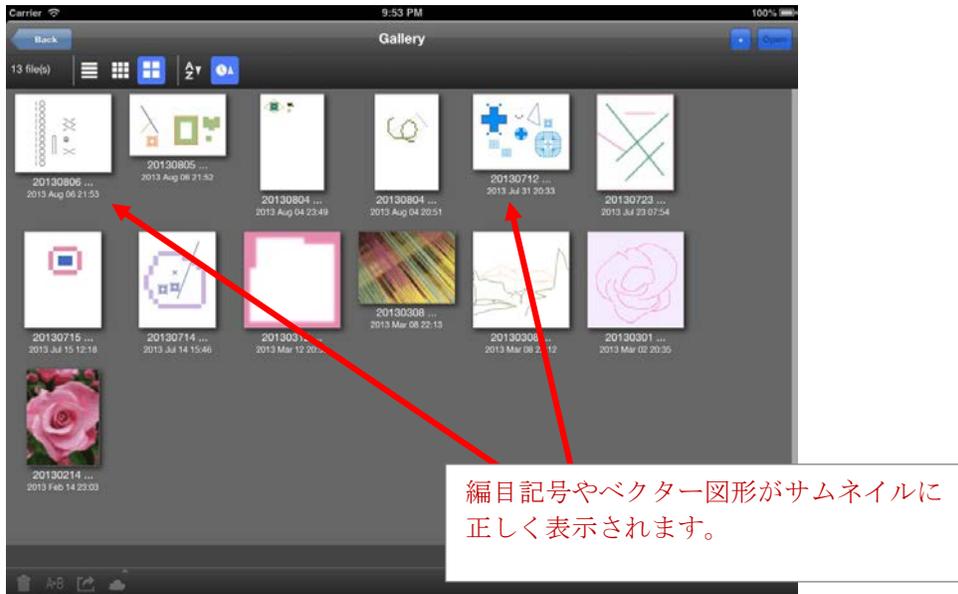
方眼編みの図案作成には、以下の設定をします。

1. 図案の種類として、「編み物」を選びます。
2. グリッド背景モードは「透明」を選びます。
3. 以下の記号を推奨します。
 - a. Blank - 1x1 : メッシュ
 - b. Blank - 2x1 : ロングメッシュ
 - c. Black square symbol : ソリッドメッシュ
 - d. Lacet symbol - 2x2 : Lacet



ファイル管理(ギャラリー)のサムネイル

サムネイル表示が、ベクター図形や編目記号の表示に対応しました。



ファイルメニュー

iPhoneでのレイアウトに対応するため、ラベルが無くなりました。

